

# 4. 新聞等に掲載された活動

## ○看護学専攻

| 氏名・職     | 活動題目  | 掲載紙誌等   | 掲載年月日            | 活動内容の概要と社会との関連   |
|----------|---|---|------------------|--|
| 宮原春美・教授  | エイズ啓発活動   | 朝日新聞  | 2010.12.6        | 大学生が社会に向けて啓発活動を実施するための指導   |
| 宮原春美・教授  | 同上  | 長崎新聞  | 2010.12.5        | 同上   |
| 大町いづみ・講師 | 平成22年度長崎薬学・看護学連合コンソーシアム<br>・大学教育プログラムの企画運営<br>・早期体験学習の企画運営<br>・生涯学習プログラムの企画運営 | 長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学・長崎県薬剤師会・長崎県病院薬剤師会・長崎県医師会・長崎県看護協会・長崎県関連ホームページ、広報紙等に記載取り組みに関する情報配信、組織内の情報共有のためにホームページを立ち上げている。 | 平成22年度<br>1月～継続中 | 文部科学省戦略的大学連携支援プログラム選定取り組み<br>在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成のための拠点形成のための取り組みとして、長崎大学薬学部、医学部保健学科、長崎県立大学・長崎国際大学の3大学が連携し、一般市民、専門職域を越えて、国内外に事業を展開している。 |
| 大町いづみ・講師 | 長崎の緩和を考える会<br>教育研修会・事例検討会   | 長崎県訪問看護連絡協議会、長崎ドクターネット各ホームページ、病院掲示板   | 平成22年<br>8月～9月   | 長崎の緩和を考える会代表として、研究会を発足。9月は淀川キリスト教病院ホスピス長、池永昌之先生による招待講演、事例検討会を企画、実施した。（長崎県内病院、訪問看護ステーション、福祉施設等の看護師、医師、福祉職 90名の参加）                                       |

## ○講座における社会活動について

- ① 長崎大学公開講座 遺伝学講座Ⅷ「遺伝について楽しく学ぼう」の開催
- ② カナダMcGill大学Dr.Cohenらが開発した家族介護者QOL尺度（QOLLTI-F）日本語版作成（山口智美、宇座美代子（琉球大学）、キシ・ケイコ・イマイ（佐久大学））

## ○作業療法学専攻

| 氏名・職    | 活動題目               | 掲載紙誌等 | 掲載年月日           | 活動内容の概要と社会との関連                    |
|---------|--------------------|-------|-----------------|-----------------------------------|
| 中根秀之・教授 | 性同一性障害の啓発          | 長崎新聞  | 2010年<br>12月12日 | 社会に生活する性同一性障害に対する理解を深め、偏見の克服を目指す  |
| 田平隆行・助教 | 認知症予防について知つておきたいこと | 長崎新聞  | 2010年<br>4月24日  | 加齢による認知機能低下を防ぐための認知機能訓練等について概説した。 |